ピラクロストロビン・ボスカリド水和剤 シグナム WDG

取扱メーカー:

協友アグリ、BASF

原体メーカー: BASF. BASF

性状:褐色水和性細粒及び微粒

毒性:普通物 消防法:——

- ●作用性の異なる剤を混合する事で、うどんこ病、 炭疽病、つる枯病、すすかび病、灰色かび病、菌 核病、べと病など幅広い病害に優れた効果を示す。
- ●両有効成分とも葉内に浸透するため残効性,耐 雨性に優れる。
- 胞子発芽阻害効果に優れ、予防的な散布で優れた効果を示す。
- ●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【薬効・薬害等の注意】 …………

- ●散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の 所定量を徐々に加える。
- ●薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用をさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輸番で使用する。
- ●なすに使用する場合、浸透性を高める効果のある展着剤を加用すると薬害が生じるおそれがあるので、さける。

- ●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにする。
- 魚類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時 は注意。
- ●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。





【適用と使用法】……

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ピラクロストロビンを 含む農薬の総使用回数	ボスカリドを含む 農薬の総使用回数
ね ぎ	べと病 黒斑病 さび病	1500倍	100 ∼ 300 ℓ	7日前 まで	3回 以内	散布	3回以内	3回以内
たまねぎ	灰色腐敗病	500倍	_	定植直前	1回	5分間苗 根部浸漬 5分間セ ル苗浸漬	4回以内 (定植前は1 回以内, 定 植後は3回 以内)	4回以内 (定植前は1 回以内, 定 植後は3回 以内)
	灰色かび病 べと病 小菌核病 白色疫病	1500倍	100 ∼ 300 ℓ	7日前 まで	3回 以内	散布		

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ピラクロストロビンを 含む農薬の総使用回数	
キャベツ	菌核病 株腐病 黒斑病 べと病	1500倍 1500~ 2000倍			2回 以内		2回以内	2回以内
はくさい	菌核病 炭疽病 白斑病 黒斑病 べと病 白さび病	1500倍 1500~ 2000倍		7日前 まで	3回	散布	3回以内	3回以内
なす	灰色かび病 菌核病 うどんこ病 褐色斑点病 すすかび病	1500倍 1500~	100 ~ 300 ℓ		以内			
トマトミニトマト	葉かび病 灰色かび病 すすかび病 うどんこ病 菌核病	2000倍		前日まで	2回以内		2回以内	
ピーマン	うどんこ病 炭疽病 黒枯病 灰色かび病 斑点病	2000倍						
とうがらし類	うどんこ病 炭疽病 黒枯病 灰色かび病							2回以内
すいか	菌核病	1500~ 2000倍 1500倍			3回以内		3回以内	- 3回以内
かぼちゃ	褐色腐敗病 うどんこ病	1500~ 2000倍						
にんじん	黒葉枯病 うどんこ病 斑点病	2000倍		14日前 まで	2回 以内		2回以内	
にんにく	さび病 白斑葉枯病 黄斑病 葉枯病	1500倍		3日前 まで	3回 以内		3回以内	
レタス		1500~		7日前 まで	2回 以内		2回以内	2回以内
	べと病	2000倍						

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	ピラクロストロビンを 含む農薬の総使用回数	ボスカリドを含む 農薬の総使用回数
非結球レタス	灰色かび病 菌核病 すそ枯病	1500倍		14日前 まで				
	べと病	1500~ 2000倍						2回以内
ブロッコリー	菌核病 黒すす病	1500倍	100~	7日前 まで				
	べと病	1500∼	300 ℓ	3 6	2回以内	散布	2回以内	
いちご	灰色かび病	2000倍		前日まで				
	うどんこ病 炭疽病	- 2000倍						3回以内
バジル	べと病			3日前 まで				
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	1500倍	100 ∼ 500 ℓ					2回以内
さやえんどう	灰色かび病 さび病		100~	前日まで				
実えんどう	うどんこ病	1500~ 2000倍	300 ℓ					